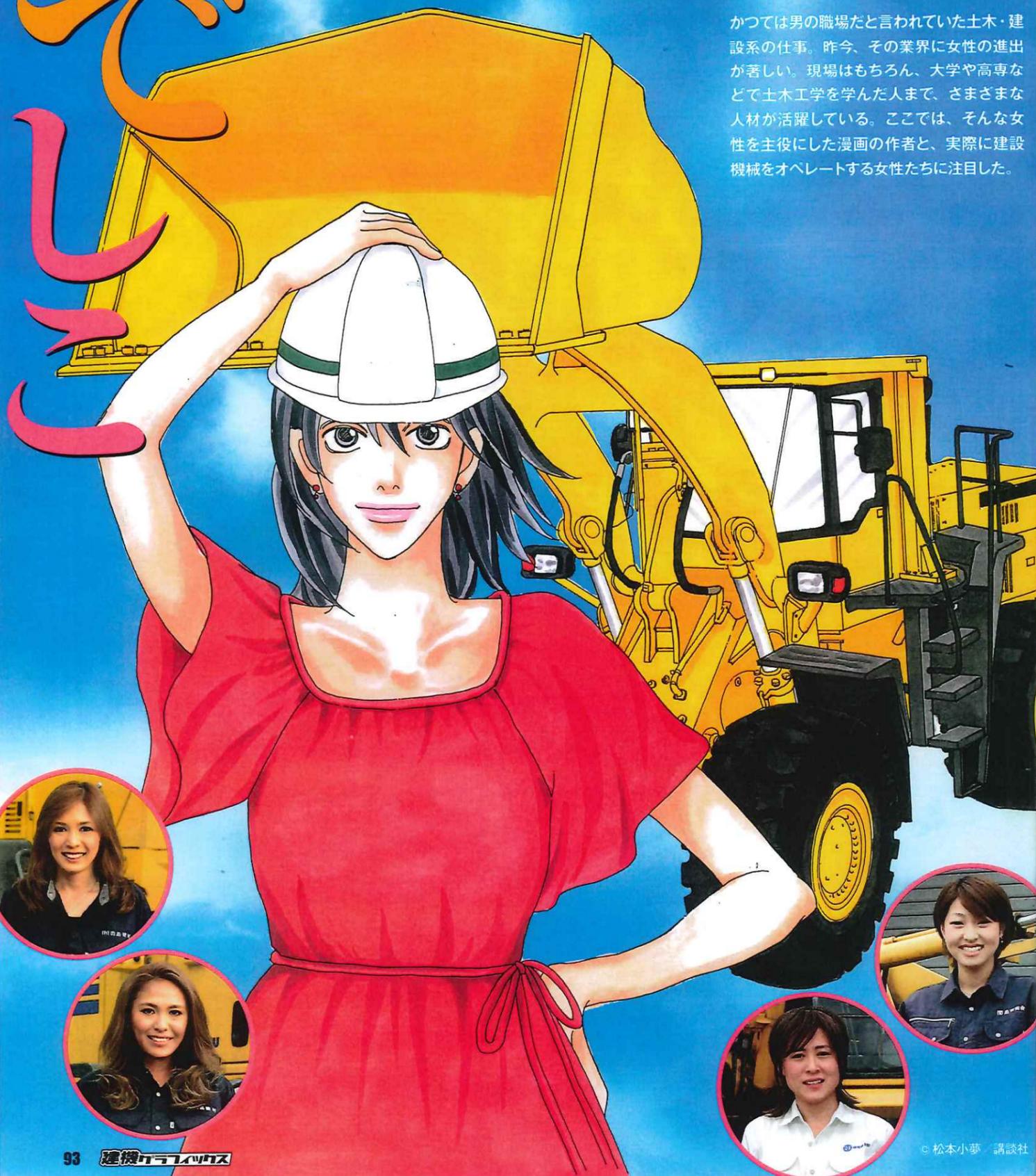


なオペレーター

現場の華

かつては男の職場だと言われていた土木・建設系の仕事。昨今、その業界に女性の進出が著しい。現場はもちろん、大学や高専などで土木工学を学んだ人まで、さまざまな人材が活躍している。ここでは、そんな女性を主役にした漫画の作者と、実際に建設機械をオペレートする女性たちに注目した。



酒井重工業 工場見学

土工用振動ローラ

SV900DV

- 運転質量 / 19.7t
- 最大起振力 / 343kN
- 垂直振動



振動タイヤローラ

GW750-2

- 運転質量 / 9t
- 最大起振力 / 58.4kN
- 全輪振動駆動



振動コンバインドローラ

TW502S-1

- 運転質量 / 5.5t
- 両輪駆動
- 振幅高低 2 段切換



タイヤローラ

TZ701-1

- 運転質量 / 15t ● 油圧駆動
- ダイレクト油圧駆動
- 樹脂製 散水タンク



ロードスタビライザ

PM550

- 運転質量 / 22.5t
- 混合幅 / 2000 mm
- 最大混合深さ / 430 mm





アパレル業界を経験した後、親孝行のために家業を手伝うことを決意。現場では住宅の解体や根切り、杭頭出し、掘削工事などを行い、建材店では販売のほか配車の手配などをこなす。趣味は仕事という働き者だ。



親孝行のため転職 姉妹を率いる長女！

アパレルの仕事で4年間経験し、その後この世界に転職した3人姉妹の長女の紗織さん。22歳のとき、尊敬する人物から「親孝行が人として一番大切。それにこれからは女性の時代だから、何でも挑戦しなさい」とアドバイスを受けて転職を決意。妹の千里さんより少し遅れて、建設業界へと飛び込んだ。「月の半分は住宅の解体や掘削などで現場に、もう半分くらいは会社で建材の販売や配車の手配などをしています。現場は男の世界だと感じることもあるが、そのなかでも女性だからこそのことを探そうと思ったりとか。だが転職したばかりのころは、まったくの異業種だったこともあり、この世界ではやっていけないと何度も思ったという。「社長がとてつもないので、最初はよく辞めたいと思っていました。長靴が飛んできたり……(笑)。でもそのおかげでオベトして成長できたと思います」。女性だからこそかわいかったこともあったが、仕事はツライことも多かったが良かったことの方が多かったと。現場ではチーム作業なので、例えば昼食をみんなと一緒にとるとか、小さなコミュニケーションも大切にしています。目標は大きく、自社ビルの建設。また同じ業界で働く女性のために、かわいい作業着をデザインするのが夢だと語った。



家業の建材屋を手伝い 建機を操る美人姉妹！

目標は自社ビル！ 家業を助ける孝行娘

神奈川県横浜市にある有限会社前島建材。前島延壽社長が身を起してから33年、会社設立18年を数える建材屋だ。建材の販売のほか、主にハウスメーカーからの受託を受けて宅地造成などを行う。さまざまなオーダーに身軽に応えられるフットワークの軽さも自慢だ。そこで働いている3姉妹がいる。社長の長女の紗織さん、次女の千里さん、三女の楓さんだ。建材屋の娘として生まれ育ち、幼いころから建機や現場を身近に感じながら過ごしてきた。現在、紗織さんは専業の重機オペレーターとして、千里さんはダンブ運転手兼重機オペレーターとして、楓さんは主に事務員として従事している。「建材屋の娘でしたけど、高校生くらいまでは親の職業が具体的に何をやる仕事なのかも知りませんでした(笑)。でも将来の仕事を真剣に考えたとき、家業の手伝いというのは、ごく自然に選択肢にありまし



前島千里



18歳から、建設業界一筋のダンブ&建機オペレーター。普段はダンブや建機で現場におもむくだけでなく、建材屋のお客さんへの対応に加え、事務や経理もこなすスーパーウーマンだ。趣味は温泉旅行やショッピングなど。



自社の様々な職務を 一手に引き受ける！

この業界へ足を踏み入れて12年目となる千里さん。姉の紗織さんよりもひと足早く家業を手伝い始めたという。「会社を手伝おうと思ったきっかけは、憧れの先輩がいたからです。その人が働く姿を見てカッコイイと思ってこの世界に飛び込みました」。普段は会社で材料を買いに来たお客さんの対応をすることが多いが、掘削や宅地造成の現場に行くこともあるという。「ユニボもベイローダーもどちらも乗れますが、やっぱり基本が材料屋なのでベイローダーのオペレーションの方が好きです。お客さんのダンブに材料を積むときなんか、荷姿がキレイだと達成感がありますね」。仕事を始めたばかりのころは、自分の不甲斐なさ現場で涙を流したことも多かったという。また、この世界では女性には珍しく、やはり最初は見くびられることも少なくなかった。「どうせ趣味感覚でやってんだら？」って人は多かったですね。セクハラもありました。でもそんな人たちには絶対負けたくなかったので、とにかくがむしゃらにがんばりました。社長にもよく怒られました。「そんな乗り方しかできねえのか！」って。それも自分を成長させるバネになりました。目標は会社を大きくすること。また姉妹と一緒に現場に出たことがないとのこと。ぜひ一度実現させたいとのことだ。



左から長女の紗織さん、三女の楓さん、次女の千里さん。前島建材自慢の美女3姉妹だ。